

協働パイロット事業 (H20) 企画提案書

(様式2)

1. 事業の名称

ゼロゼロプラエスタ in 街中

団体名：「ゼロゼロプラエスタ静岡」市民ネットワーク

2. 事業方針 (市民ニーズや協働で取り組む意義を踏まえてください)

1. 全市民的な「もったいない運動」を推進する。「身近なところで不用品交換をしよう」
2. 家庭に眠っている不用品を有効に生かす道を探る。
3. 気軽にお互い譲り合う気持ちを育てる。

3. 協働にあたって提案団体が果たす役割及び行政に望むこと

この事業に欠かせないのは、駐車場の広い施設、一定期間保管・掲示可能なスペース、どうしても残ってしまう不要物の処分。これらは、行政の協力がなくしてほできない。

一方、市民は行政主催の行事に対しては、おがままを言う傾向にあり、主催する側も、参加する側も対等にお互い譲り合い協力しあうことが難しくなる傾向がある。そこは市民団体が全面に出て実施する必要がある。

「ゼロゼロプラエスタ静岡」市民ネットワークの周辺団体に呼びかけ、この経験とノウハウを新しい市民団体、個人にも広める。

4. 成果目標 (できる限り具体的に表現してください)

集まった人数、集められた物＝「不用品、古紙、古着など」の重量を広報などで発表し、それによるごみ減量成果、ごみ処理コスト低減による税金の節約効果を市民にアピールする。

団体名：「ゴミゼロプラン静岡」市民ネットワーク

## 5. 事業計画

すでに沼上清掃工場での回実施してきたゴミゼロフェスタを市民が気軽に訪れることができる街中で実施する。小学校跡地などで、不用品交換市を行う。家庭で要らなくなった不用品・古着・古紙（家電4品、PC、大型家具を除く）を市民に持ち込んでもらい、訪れる市民に無料で持ち帰ってもらう。参加する市民に呼びかけ、集められた古着類を海外援助にまわすカンパを募り、集まったカンパ額分だけの送料で海外援助を行う。持ち帰ることができない古着類は古紙ルーストで再生利用。不用品類は、一週間展示後（有用なものは展示期間が長ければ長いほどよい）、清掃工場のバツカー車を使って清掃工場ですら処分してもらう。

## 6. スケジュール

- |               |   |
|---------------|---|
| 2009年3月実施をめざす | (時期が早まっても問題はない。予定施設との関係だけ)  |
| 2008年10月      | 企画討議、チラシ・宣伝方法検討   |
| 2008年12月      | 宣伝開始、チラシ配布開始  |
| 2009年1月～3月    | 各種環境問題の集会、町内会などを活用して広報を実施する<br>平行して実施施設でのレイアウト、交通整理、駐車あり方、を検討する。                      |
| 2009年3月       | 開催日にゴミゼロフェスタを実施する。<br>一週間展示会を実施する（持ち帰りなし）<br>一週間後最後に残った商品を処分する。<br>アンケート集計後、報告書をまとめる。 |

団体名：「ゴミゼロプラザ静岡」市民ネットワーク

7. 実施体制および主要スタッフの経歴

中心メンバー10人は、いずれも9回のゴミゼロプラザを実施してきたベテラン。10人を中心に例年5～60人のボランティアを集めてきた。

--

8. 特にアピールしたいこと（専門性、独自性、先駆性、実績など）

9回の開催で、このゴミゼロプラザ方式の「不用品交換市」の市民ニーズはきわめて高く、ゴミゼロプラザ方式の無料不用品交換市は、全国からも注目されている。これぞ静岡と大々的に売り出すことが可能。

--

## 協働パイロット事業 (H20) 見積書

団体名：「ゴミゼロプロジェクト」市民ネットワーク

企画のタイトル：ゴミゼロプロジェクトin街中

項目	金額	説明
ボランティア食事代	30,000	フェスタ当日の昼食代 500×60人
ボランティア保険	10,000	フェスタ当日の保険代
チラシ作製	50,000	チラシ作製、印刷費用
バツカー車運費用	100,000	清掃工場のバツカー車の費用 (推定)
小計 A	190,000	
消費税 B=A×0.05	9,500	
合計 A+B	199,500	

※ 参加費の徴収、物品の販売、提案団体の自己負担等、委託料以外の財源がある場合

収入見込み額	金額	主な用途
当日の会場カンパ	50,000	海外援助を訴え、参加者からカンパを求め る(海外への発送費@5000×10箱)

## 企画提案の概要書

提案団体名	「ゴミゼロプラン静岡」市民ネットワーク
企画案のタイトル	ゴミゼロフエスタ in 街中
提案の要旨 (企画提案書の概要を400字以内で ご記入ください。)	手軽、便利、快適を主題に大量生産・大量消費・大量廃棄が続いている今日。静岡市が進める「もったいない運動」。未だ使えるものを使い回す、静岡的習慣を創りたい。無料不用品交換市＝ゴミゼロフエスタは静岡で生まれた全国から注目されている方式。今まで、郊外の清掃工場で行ってきたがもっと「便利で手軽に」出来る場所、街中で実施することで、更にその存在と意義を静岡市民と全国に発信する。
金額	199,500

## 《注意事項》

ホームページでの公開資料です。以下のことに注意してください。

- ・ 丸数字などの特殊記号は使わないようにしてください。
- ・ 図やイラスト、写真、動画、スライド等は掲載できません。
- ・ html で表現できない複雑な表現方法はご利用できません。